

【現場除雪事例：H14 新潟県 1】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / A2:気象情報確認・活用
工事種別	道路改良工事
工事名称	中ノ沢内川線地方特定道路整備費（改築）道路改良 工事
施工場所	新潟県東蒲原郡三川村
工期	平成 14 年 11 月 19 日～平成 15 年 3 月 14 日
使用機材 / 機械	バックホウ排出ガス対策型クローラ型山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）、タイヤドーザーディーゼル式容量 1.2m ³ 、タイヤドーザーディーゼル式容量 0.5m ³
現場除雪の工夫・留意点等	工事中道路の除雪は、法肩からの転落防止の為ポール、誘導員の配置を行った。また、翌日の降雪が予想される場合には、資材及び構造物にブルーシートを掛け、周辺に目印としてポール、長めの杭等を打ち込んだ。



ドーザによる除雪（除雪幅端部に杭等を打込）

【現場除雪事例：H14 北海道 3】

除雪工夫分類	A3:除雪範囲の明示 / B3:機械（機材）の適切な選定
工事種別	道路改良工事
工事名称	主要道道静内中札内線 中札内村 2号擁壁外工事
施工場所	北海道河西郡中札内村
工期	平成14年3月20日～平成15年1月31日
使用機材 / 機械	バックホウ 0.8m ³ 、バックホウ 1.2m ³ 級、バックホウ 0.45m ³ 級、バックホウ 0.3m ³ 級、バックホウ 0.2m ³ 、ショベル 1.3m ³ 級 V プラウ着用、ショベル 0.4m ³ 級
現場除雪の工夫・留意点等	<p>作工物及び、道路路肩をポールにより明示し道路の位置を明確にして除雪作業を行いました。又、ポールに色分けした表示板を設置し雪崩危険箇所作工物箇所等がわかるよう識別表示を行い安全に作業が行えるような工夫を行いました。除雪箇所は、山間部、雪崩多発地帯であり降雪後には雪崩が必ず発生し、大量の堆雪量になるためにバックホウを先導させ除雪を行い、その後にショベルにて雪の整理を行いました。機種を選定につきましては、雪崩等の堆積量を考慮するとショベルでは押切れないために大型のバックホウにより雪撥ねをし、ショベルで残雪を処理することを考慮し選定をしました。</p>



除雪

【現場除雪事例：H14 岩手県1】

除雪工夫分類	B4:シートの活用 / A3:除雪範囲の明示 / C2:住民・通行者の安全
工事種別	道路改良工事
工事名称	北田道路改良工事
施工場所	岩手県水沢市佐倉河北田町
工期	平成14年3月19日～平成15年2月28日
使用機材 / 機械	バックホウ0.8m ³ 、バックホウ排出ガス対策型クローラ型山積0.25m ³ (平積0.2m ³)、バックホウ排出ガス対策型クローラ型山積0.45m ³ (平積0.4m ³)
現場除雪の工夫・留意点等	降雪等の恐れがある場合は、事前に施工面をブルーシートで覆い、除雪をしやすくした。現場周辺の市道には融雪剤を散布(人力)した。盛土箇所 の路肩部は最初に除雪し、重機等の転落防止の為カラーコーンにて明示した後に除雪を行う。市道部に融雪材を散布するときは、一般車両との接触事故等に十分気を付ける。(誘導員を必ず配置)



施工箇所をブルーシートで覆った